

全ての争議を解決し  
安全・安心の航空へ

# 航空連ニュース

航空労組連絡会

大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル

Tel 03-3742-3251

Fax 03-5737-7819

No.1002 (35-23) 2021年2月24日

1月26日、8名の議員有志がJAL植木会長、赤阪社長宛に2回目のヒアリングへの参加を要請しました。2月10日、JALから「コロナ禍、リモートワークで返信遅れて申し訳ありません。年度末で多忙を極めています。会社としての対応が決まり次第連絡します」との返答がありました。JAL争議については、議員の方々の関心が高く、原告団にコメントも寄せられています。今号からコメントを到着順に紹介いたします。

## JAL 争議について私はこう思います



自由民主党 江崎鐵磨衆議院議員

長期間の争議による皆さんのご窮状をお察しします。4度のILO勧告にもかかわらず、解決の見通しが立たないのは誠に遺憾です。JALには1日も早く具体的な解決策の提示がなされるよう、引き続き働きかけてまいります。



日本共産党 高橋千鶴子衆議院議員

10年間続いていることは、本当に心苦しい。必要のないリストラ、都労委命令などあるのに、なぜ解決しないのか。前回のヒアリングに直接参加をしていますが、JALは誠意がないと思います。責任のある人に来てほしい。政治的解決のテーブルにつけさせること、集中審議のようなものを求めていくことが効果的ではないか。現実を受け入れられなくても野党で申し合わせ日を決めればできることです。



無所属 芳賀道也参議院議員

ILO勧告に従わないJALは一流企業としてお粗末です。日本を代表する国際的企業のコンプライアンスとしてどうか。日本のイメージダウンに繋がる。公的企業としての社会的責任、雇用に対しても責任がある。真摯に話し合いの場に出るべきです。争議団の皆さんが、長い間、正しいことは正しいと闘い続けていることに感心しています。諦めたら終わりです。



自由民主党 山本朋広衆議院議員

(メッセージ)

労使間において様々な事情と主張があり、それが一致しない場合は、自主的に解決する努力が必要である。

日本航空は適切に対応すべきです。



社会民主党 福島瑞穂参議院議員

そもそも解雇は必要だったのか。その後の採用もあったことから疑問です。JALは問題に真摯に向き合っていない、大変残念。政治の力で解決したい。粘り強く取り組んでいく。超党派での取り組みが効果的ではないか。皆さんの頑張り心から敬意を表します。これ迄の努力が報われるよう、これからも一緒に頑張りましょう。